

# 予算等特別委員会

令和2年度市一般会計予算案を審査した予算等特別委員会（鷗浦昌也委員長、議長を除く全議員で構成）の質疑内容を要約して一部紹介します。



完成間近の野球場

**質** 体育交流施設利用料が増額となる理由は。  
**答** 元年度より約1千万円増の1492万円で、2年度は運動公園ができ、野球場2面、サッカー場2面、屋内練習場の使用料が増える。

**質** ふるさと納税寄付金が元年度より1億円の増額を見込んでいるが、今後の取り組みは。  
**答** 元年度は総務省の制度改定などで宣伝を抑えてきた。新年度に向けて宣伝を積極的にする。また、新たな事業者の提案によって増額が見込まれる。

**質** 新しい公共交通導入の実証実験の方針は。  
**答** 2年度は横田地区以外にも事業展開したい。協議の段階だが、矢作方面に導入を検討している。

**質** 地域交付金の方針は。  
**答** 2年度も同様の進め方だが、市内のコミュニティ推進協議会が集まった際に元年度の各地区の事業を発表する機会を設けたい。地域主導になつてほしい事業でもあるので、若者中心や高齢者向けの事業でも自由に使える交付金制度としたい。

**質** 庁舎維持管理事業費にしみんエネルギーの導入は。  
**答** 元年度の途中からしみんエネルギーに電気の契約を切り替えた。それにより、2月末までで130万円程度軽減した。

**質** 震災拾得物等（思い出の品）返還促進事業は。  
**答** 被災者支援総合交付金を活用して事業を進めてきたが、3年度以降は自主財源で活動していく方向にある。市として事業実施団体と協力しながら進めていきたい。

**質** 自治会館等の整備事業費1億300万円の予定は。  
**答** 被災による新築は広田町の田谷公民館、米崎町の館公民館、高田町は高台3、5、6、7の公民館、気仙町今泉地区は高台5、6、7の公民館。世帯増による新築は米崎町の和方地区を予定。なお、改修は竹駒町の仲の沢公民館と広田町の大陽公民館を予定している。

**質** 漁業後継者への支援は。  
**答** がんばる海の担い手育成事業の見直しで支援を増額する。生活、資材整備、資格取得の支援を検討している。

## 質疑 一部紹介

## 議員 内容を

**質** 地域ブランド化推進事業は。  
**答** 2年度はたかたのゆめ、広田湾産エゾイシカゲガイ、発酵の里が作る発酵商品などのブランド化を進め、東京や名古屋などのテストマーケティングを行い、一緒に商品開発を進める。

**質** 震災から10年以降の被災者見守り・交流推進事業の方向性は。  
**答** 国から延長が認められているので、今後も引き続き実施していく。併せて、地域づくりと連携しながら進める。

**質** 市内学童クラブは新型コロナウイルス感染症対策で大変な苦労をしている。支援員の人員配置に支援は。  
**答** 不足人数を把握し、どうしても足りないところに市の子ども未来課から職員を派遣している。また、子どもが学童クラブを利用している市職員を配置する。

**質** 新型コロナウイルス感染症の受診のルートは。  
**答** 大船渡保健所が対応している。渡航歴があれば医療機関から連絡し、保健所の指示で決まる。

**質** 有害鳥獣対策の増額理由は。  
**答** ニホンジカの捕獲報償金をこれまで1万円だったものを1万4千円にする。

**質** 企業誘致の状況は。  
**答** ホテル誘致をはじめ、鮭の白子から健康食品を作る企業など、立地を検討する企業がいくつかあり、随時進めて

**質** 新型コロナウイルス感染症対策としてマスクの備蓄は。  
**答** マスクは9年前の支援のものを保管しており、市内の医療機関や福祉施設等に必要な枚数を配布している。

**質** 新型コロナウイルス感染症対策としてマスクの備蓄は。  
**答** ピーカンナツツの研究施設はいつ完成するか。  
**答** 2年度中に完成予定で、この春には苗木を露地に植えて研究を進める。



ワカメのポイル作業

**質** 漁業系廃棄物処理支援事業として、廃プラスチック処理への補助を継続し、養殖の残さ処理に3分の1を補助する。  
**質** 震災後継者への支援は。  
**答** がんばる海の担い手育成事業の見直しで支援を増額する。生活、資材整備、資格取得の支援を検討している。

**質** 養殖残さの処理費に支援策は。  
**答** 養殖は本市のみとなつている。地域によっては天然物が出回っているところもある。今後100トンの流通を目指す。オンリーワンとしての利益が他に流れないよう漁協とも進める。